

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 6月23日更新

事務事業名	男女共同参画社会推進事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	総務部	課長名	財津 公正
	施策	23	人権が尊重される社会づくり		所属課	総務課	担当者名	末永大樹 猿渡祥子
施策の柱	77	男女共同参画社会に対する理解の促進		所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1217	
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 15	事業連番	10905	根拠法令	男女共同参画社会基本法、合志市男女共同参画まちづくり条例
								成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ②
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	男女共同参画社会基本法、市男女共同参画まちづくり条例に則り、男女がお互いに尊重し、家庭・地域・職場などの社会の構成員として、自らの意思によりあらゆる分野の活動に参画する機会が確保され、男女がともにいきいきと充実した人生を送ることができるよう以下の事業をおこなう。 ・市民・企業等を対象に啓発イベント「気づきうなずきフェスティバル」を年1回実施 ・啓発誌「いっぽ」を年1回全世帯に配布 ・地域リーダー育成の為に県主催の育成事業に参加(公募) 「男女共同参画まちづくり講座事業」「男女共同参画推進啓発誌発行事業」「男女共同参画推進研修事業」は一体化している事業であり、包括して一事業と捉えることが可能。平成27年度から本事業に「男女共同参画推進啓発誌発行事業」「男女共同参画推進研修事業」を統合し、「男女共同参画社会推進事業」とする。
【業務の流れ】	啓発イベント、啓発誌については、男女共同参画推進懇話会において内容を検討する。懇話会は年7回開催 地域リーダー研修については、広報等で公募。
【主な予算費目】	報償費、旅費、役務費、印刷製本費、負担金、補助金
【意見や要望】	イベントへの若い世代の参画推進が必要。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
懇話会で啓発イベントの内容検討を行い実施した。(1/23男女共同参画気づきうなずきフェスティバル参加者、約200名) 啓発誌「いっぽ」の発行(全世帯) 地域リーダー研修(2名参加)	前年度と同様。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) (単位)	予算の主な増減の理由
ア: 講座開催回数、27年度から県地域リーダー研修に参加した市民 イ: 啓発イベント参加者数	委託料の減 人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
市民	ア: 市民(3月末)(平成25年度までは18歳以上) イ: 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
・男女共同参画の重要性を認識できるようになる。 ・生活に活かしていくようになる。	ア: 男女共同参画の重要性を認識できたと答えた参加者数の割合 % イ: 生活に活かしていこうと思った人の割合 %
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠	
市民の方に男女共同参画の重要性を啓発する目的なので、フェスティバルで実施したアンケートの設問の結果を成果指標とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込
① 活動指標	ア	回	2	1	2	2	3	3	3	3
	イ	人	830	400	200	200	400	400	400	400
② 対象指標	ア	人	46,099	59,067	59,200	60,008	60,100	60,900	61,500	62,000
	イ									
③ 成果指標	ア	%	67	60	65	0	65	65	65	0
	イ	%	45	48	50	0	50	50	50	0
投資 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人 件 費	一般財源	千円	150	127	859	523	489	423	423
		(A) 事業費計	千円	150	127	859	523	489	423	423
		(A)のうち指定経費	千円	8	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	8	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	20	11	4	8	4	4	4
延べ業務時間	時間	329	193	800	614	800	800	0		
(B) 人件費計	千円	1,310	768	3,187	2,279	3,187	3,187	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,460	895	4,046	2,802	3,676	3,610	423		

事務事業名	男女共同参画社会推進事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 講演会の内容や講師の選定により、達成できる見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 啓発イベントの集客ができなかったので広報のやり方を検討する必要がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 講演会の開催や情報誌の発行など事業内容では類似事業はあるが、男女共同参画推進のための事業は他にない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 講師謝金等を削減することで可能である。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の人件費なので、削減の余地はない。 「平成27年度から本事業に「男女共同参画推進啓発誌発行事業」「男女共同参画推進研修事業」を統合し、「男女共同参画社会推進事業」とし、効率化を図る。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全市民に呼びかけ、人権が尊重される社会づくりに寄与している。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 懇話会委員にも講座の協力 (駐車場係や受付等) をボランティアでやっていただいている。また、市の責務として啓発活動を行わなければならないため適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

フェスティバルで啓発活動を行ったが、若い世代の参加が少ない。限られた予算の中でどう若い世代を呼び込むか課題である。
また、集客率が悪かったため、集客するための方法を検討する必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						